

レタス産地の更なる技術向上を目指して

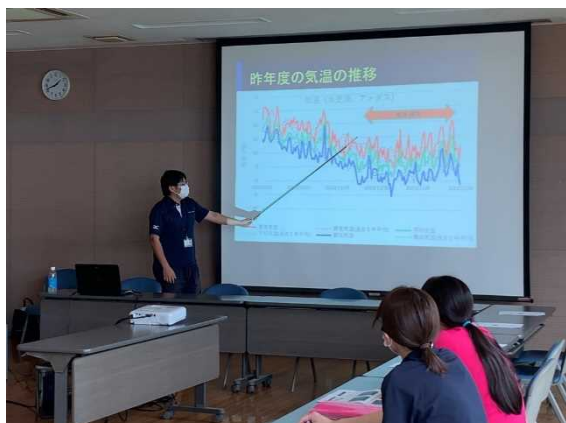
～レタス栽培情報交換会を開催～

君津農業事務所改良普及課 令和3年7月26日発

君津地域はレタスの指定産地となっていますが、近年生産者の高齢化等に伴い栽培面積が減少しています。当事務所では産地の継続、発展を目的として、JA きみつレタス生産者を対象に、レタス栽培情報交換会を7月9日に開催し、6名の生産者が参加しました。

はじめに、昨年度の栽培状況の聞き取り調査結果について当事務所職員が報告しました。定植後の苗活着のためのかん水や、収穫期間が厳寒期にあたる場合は地温の確保を行うことで、収量増が見込まれる旨を情報提供しました。

その後、生産者同士で厳寒期収穫の作型について品種選定や栽培管理の情報交換を行いました。終盤では当産地の将来像についても、活発な議論が行われました。参加者からは「他生産者の品種構成、資材等を知ることができて良かった」等の感想が出されました。当事務所では、今後も関係機関と連携し、栽培技術向上に向けた取組を進めていきます。



「昨年度の栽培状況について」の講演の様子



研修後の情報交換会の様子